

イヌコハコベ (犬小はこべ)

名前の意味^{いみ}：コハコベに似て、違うのでイヌと付けられた。イヌはにているが違うもので、しかも役に立たないものにつけることが多い。

分類：双子葉類、ナデシコ科、ハコベ属

(ナデシコ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：カーネーション、カスミソウ)

好きな場所：都会の日当たりのよい道ばた、空き地

分布：本州

原産地：ヨーロッパ

特徴：対生の葉。下のほうの葉はスぺード形

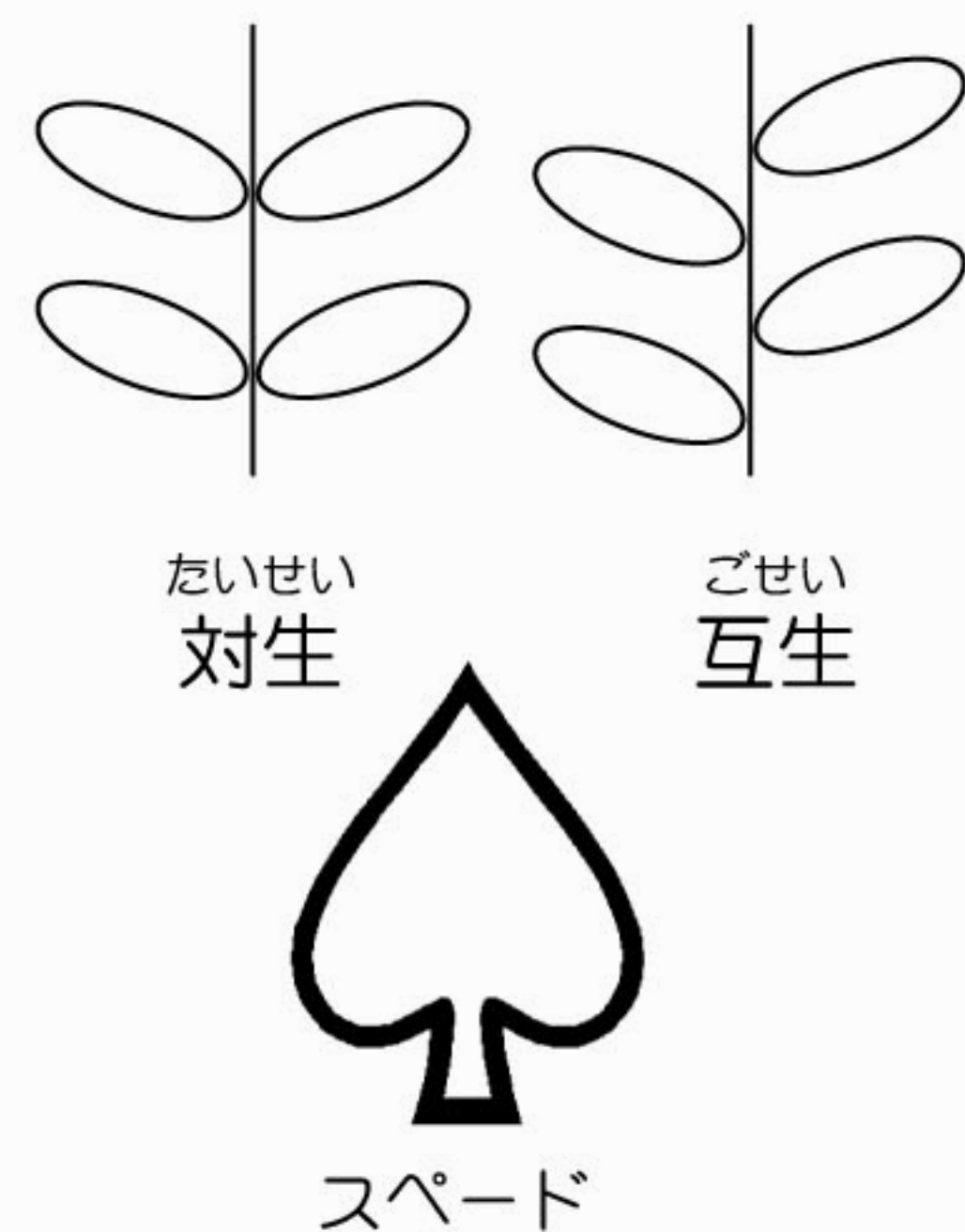
花びらのない小さな花。

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：花びらはない。離弁^{りべん}。

花の時期：3—5月

見分け方：コハコベとは、花びらがないこと、がくの付け根に紫色の点があることで区別できる。



見つけやすさ ★

見分けやすさ ★★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)